

# 看護体験 高校生 思い新た

患者さんとの触れ合いを通して、看護の心と命の尊さを学んでもらおうと、室蘭市内の2総合病院で、高校生の夏休み期間中に合わせた「ふれあい看護体験」が行われた。参加高校生らは、看護の仕事の重要性を感じながら、将来の目標に向かって決意を新たにしていた。

(松岡秀直)

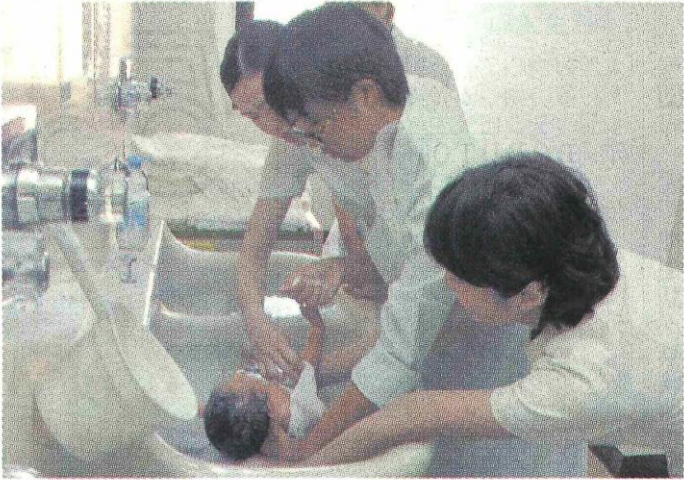
## 日鋼記念病院

新富町の日鋼記念病院

(柳谷昂仁院長)は3日に開催。26回目を迎える今年度は、室蘭、登別、伊達の7校から生徒16人が参加し

た。「一日ナース」として各病棟に配属。体位変換や足浴、洗髪、車いす移送などを体験した。

このうち、産婦人科病棟に配属された相馬穂奏さん(室蘭栄3年)と、高橋諒海さん(登別明日6回生)は、新生児沐浴も体験。先輩看護師の指導を受けながら、緊張した面持ちで赤ちゃんのおなかを丁寧に洗



新生児の沐浴を体験する「一日ナース」の高校生たち。日鋼記念病院



患者とコミュニケーションを取りながら、足浴を体験する高校生。製鉄記念室蘭病院

## 製鉄室蘭病院

知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は7月31日に開かれ、室蘭、登別、伊達の7校から21人が参加。三人ずつに分かれ、各病棟で足浴、洗髪、車いす介助などを体験した。

憧れの白衣に身を包んだ高校生らは、入院する患者の協力を得て、看護師のアドバイスを受けながら清潔ケアを実践。足浴では「気持ちいい」などと話す患者と笑顔でコミュニケーションを取るなど、看護の業務に理解を深めていた。